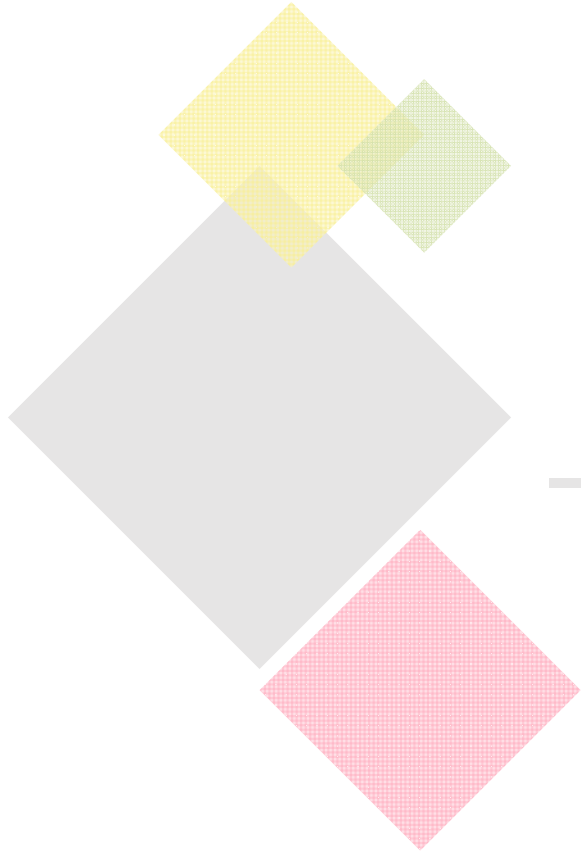


# 介護のしごとと魅力発信等事業 福祉・介護に対する世代横断的理解促進事業

事業概要

2019年7月30日  
朝日新聞社



## 事業概要・成果目標

---

## ◆ プロジェクトについて

### ◆ プロジェクト名



### ◆ 思い

世代横断的に幅広い層が「介護」に対し理解と共感を深めるとともに、  
「介護」を自分ゴトに、身近なものと捉え直し、  
「介護のしごと」参加・関与していくことに貢献する。

## ◆ 事業の基本的な考え方

### ◆ 高齢化に伴い増大する介護ニーズに応え得る人材の確保を目指して

少子高齢社会の進展から、高齢化に伴う介護ニーズが増大することが見込まれる。介護の仕事が持続可能であり続けるために、人手不足の中で、介護のイメージ改善と人材の確保という課題に取り組むことは急務である。

### ◆ 守りと攻めの両方の観点から介護人材の確保を図る

介護人材の確保のためには、守り（離職防止）と攻め（新規人材確保）の観点が重要であり、車の両輪としてともに実施する必要がある。

### ◆ 介護職の満足要因にアプローチする施策を実施

介護に対する社会承認や達成感などの満足要因にアプローチすることは、「離職防止」、「新規人材確保」のいずれにも有効と考えられ、満足要因には、利用者や家族からも感謝されるやりがい、利用者の状態改善や幸せな笑顔、「ありがとう」という一言などがあり、こうした成功体験の共有や発表の場も進めていくべきである。

### ◆ 中高生や教育現場への働きかけ

介護の本質は、高齢者の日常生活を維持できるよう人が人に誠意を持って支援を行うことであり、高齢者に共感できることが適性の一つとなることから、新卒者に向けた就活フェアなどでの取り組みだけでなく、その前の中高生等が進路を考える段階で「介護の仕事」を選択肢としてもらえるよう、中高生や教育現場への働きかけも有効ではないか。

### ◆ 地域住民やアクティブシニア層への働きかけ

介護の仕事は食事介護、入浴介助、排せつケア、口腔・栄養ケア、機能訓練、看取りから見守り、利用者と家族とのコミュニケーションや傾聴など多岐にわたるが、直接介護ではない周辺業務もあり、こういった「介護の仕事」は、地域住民やアクティブシニアが担うことができ、潜在的な介護の担い手や支援者の裾野の拡大につながる。

## ◆ 事業対象者と目標

### ◆ 事業対象者

若年層、子育て層、子育てを終えたアクティブシニア層など若年層から中高年齢層にわたる幅広い世代

- ◆ これまでの取り組みで理解が進んでいない一般生活者（介護職以外）を主な事業対象とします。
  - ☞ 「新規人材の獲得」や「社会的な理解・支援」につなげる「**攻め**」の事業といたします。
- ◆ 介護職員等介護周辺従事者も対象として意識します。
  - ☞ 現役介護職の離職防止に資する「**守り**」につなげます。

### ◆ 目標設定

幅広い世代が「介護のしごと」の理解を深め、介護の現場が今後も持続可能であり続けることに貢献します。

- ◆ 世代横断的な啓発事業により、幅広い世代が「福祉・介護のしごと」の理解を深め、介護の仕事のイメージ向上、新規人材の獲得、社会的支援の裾野拡大、離職防止につなげます。それにより介護の現場が今後も持続可能であり続けることに貢献いたします。
- ◆ 介護の職場体験や研修など都道府県での取組に誘導するため、情報発信プラットフォームの活性化に努めます。

## ◆ プロジェクト基本方針

### 次世代介護スタイル KAI-GO!

コンセプト

#### 一般生活者を 主なターゲットに

介護職以外の一般生活者をターゲットとし介護職への理解を深めます。

#### 守りと攻めの 両輪

新規人材獲得と離職防止の両観点からイメージ向上、ブランディングを図ります。

#### 世代横断的 アプローチ

幅広い層が介護を身近に捉え、社会全体で関わりを持てるよう理解促進に努めます。

企画概要

#### クロスメディア広報

世代横断型、世代別に適切な媒体で介護の魅力を伝える

インター  
ネット

SNS

動画

新聞

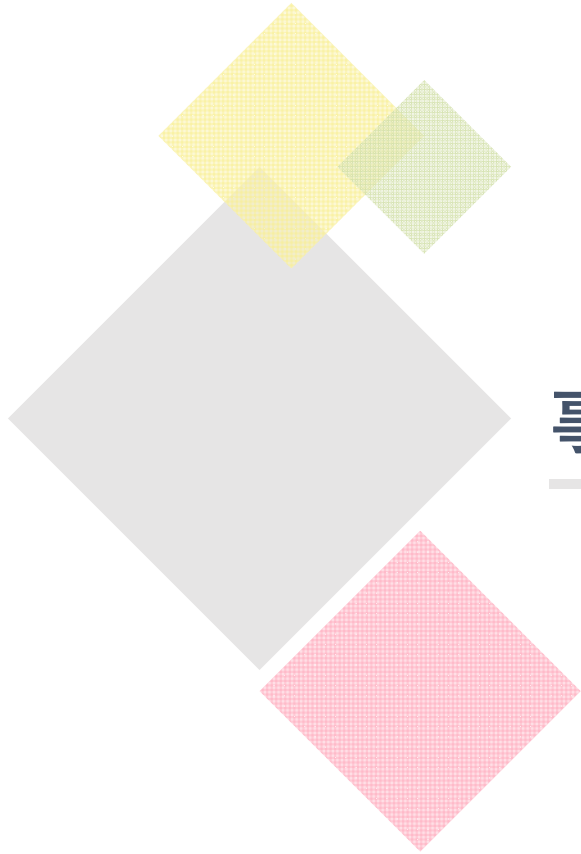
TV

雑誌

イベント

効果・成果

幅広い世代が「福祉・介護」に対し理解と共感を深めるとともに、  
新規人材確保や社会的な支援のすそ野拡大、  
介護職の離職防止・意欲向上にも貢献いたします。



## 事業計画・具体的手法

---

## ◆ 全体像 – クロスメディアによる世代横断的な普及啓発の実現 –

本事業では、若年層からシニア層まで幅広い年代に適切な媒体でアプローチをすることで、社会全体が持つ介護に対するイメージの底上げを図る世代横断的な展開を目指しています。その実現のため、対象者像に応じて複数の媒体（後掲）を活用・連動させ、多様なコンテンツを適切な体裁（活字・映像等）で発信いたします。

### 次世代媒体

将来の進路を考える  
中高生、教育現場への  
アプローチ

### 新聞／TV／雑誌

世代を超えて到達する世代  
横断型メディア・オフライ  
ンメディアの活用

### プラットフォーム

国や都道府県の施策情  
報を発信する窓口サイ  
トの開設・運営

### インターネット

プロジェクトWEBサイト・  
SNS・世代別セグメントメ  
ディアの相互連携

### 普及啓発セミナー

アクティブシニア層  
への直接的なアプ  
ローチ

若年層

高年齢層



# ◆ プロジェクトサイト構築・世代別セグメントメディアとの連携・情報発信

朝日新聞社が運営する6つの世代別セグメントメディアでそれぞれのメディア、ユーザーにあった切り口で「介護のしごとの魅力」をPR記事配信。それぞれのメディアで発信するとともに、新たに構築するプロジェクトサイトでも発信します。プロジェクトサイトは、オフラインメディアで展開するコンテンツも収録するとともに、プラットフォーム（国や都道府県の施策情報の発信を行うための窓口サイト）とも連携します。



## 6種類のセグメントメディア

各メディアユーザー層にマッチした、介護に関する記事を制作・掲載



プロジェクトの特設サイトに  
取りまとめ

## プロジェクトWEBサイト

<https://www.asahi.com/ads/kaigo/>（仮）

## 国・都道府県プラットフォーム



リンク  
コンテンツ連携



コンテンツ収録

## オフラインメディア

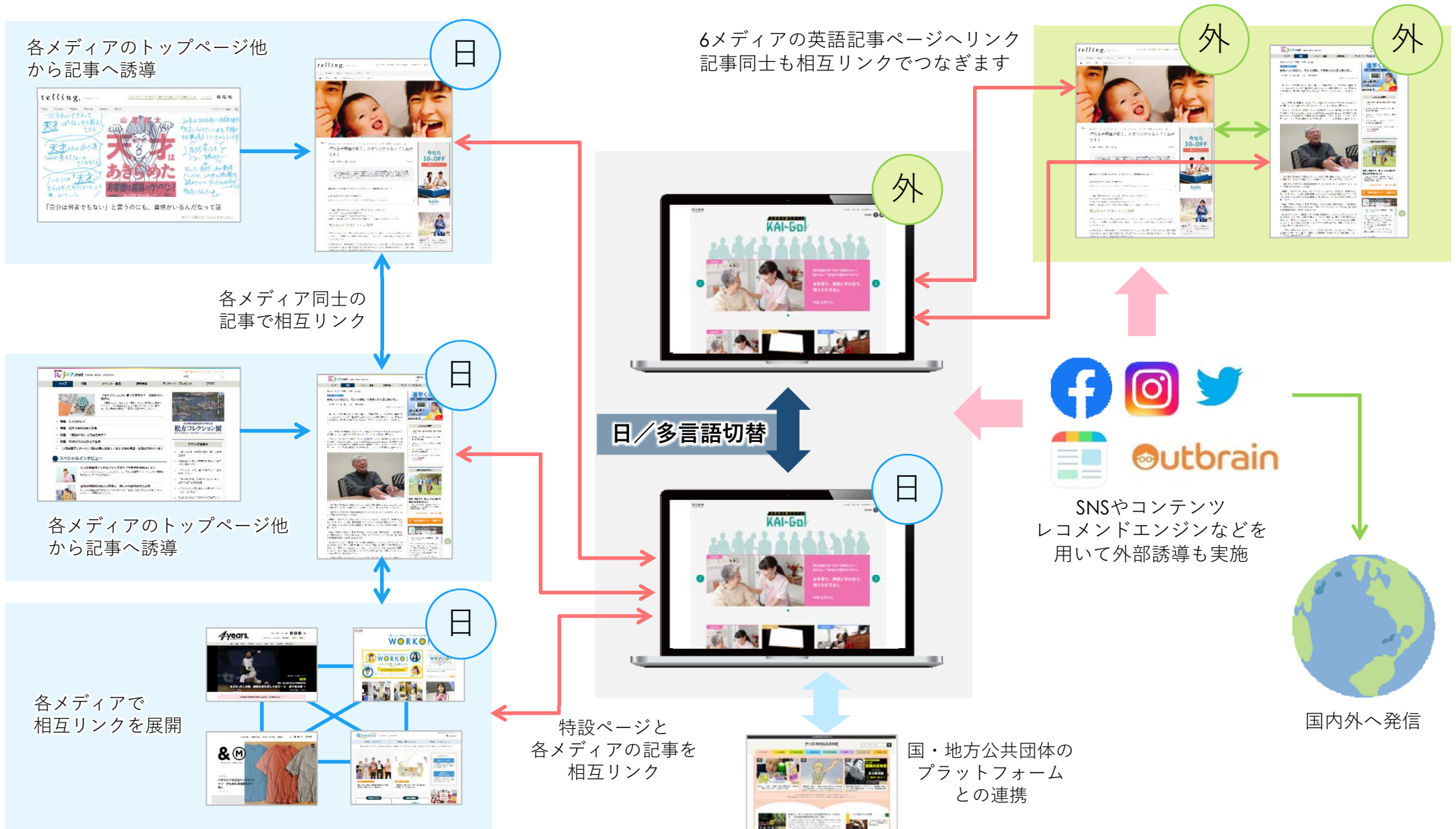
朝日新聞

AERA

あなたのハートに  
BS朝日 5 CH

朝日中高生新聞

# ◆ プロジェクトサイト × 世代別セグメントメディア × SNS ・ 海外発信イメージ



## ◆ 啓発動画を制作

著名な広告賞の受賞経験を持つ監督による啓発動画を作成。「介護の仕事」の魅力を、自然かつ情感に響く形で映像作品に仕上げ、「言葉の壁を越えやすい」動画の強みを生かし、SNS等で東南アジア地域を中心に海外配信します。

### 高島太士氏



FIRST APARTMENT / 演出家、ドキュメンタリスト / ソーシャルグッドなアイデアで、共感をよぶ映像演出を得意とする。これまで手がけた作品は国内はもとより、カンヌライオンズなど海外広告祭での受賞も多数。最近の取り組みは、SDGsや幼児教育の分野で映像の知見を活用すること。



「特別養子縁組制度」の動画



「共働きの夫婦」を主役にした動画



多言語で国内外に発信

## ◆ オフラインメディア・次世代媒体で特別企画を掲載・放映

若年層から高齢層まで、多様な立場やスタイルで「介護」に関わる「介護のしごと」の現場とそれぞれの「魅力（やりがい）」を取材、広く一般生活者に共有する特集を各媒体で広く展開します。

幅広い世代に知名度のある著名人の出演等で効果を高める工夫をします。

### 新聞

**朝日新聞**

企画広告の連載

### 雑誌

**AERA**

タイアップ特集の掲載

### テレビ

あなたのハートに  
**BS朝日 5**

特別番組の放映

### 次世代媒体

**朝日中高生新聞**

将来世代への啓発・教育機関での広報活動

## ◆ ターゲット層への直接的な啓発活動（啓発セミナーの実施）

3,000名以上のアクティブシニアが来場する最大級のリアルイベントを活用し、アクティブシニアを対象に「介護の魅力セミナー“身近な介護、介護される側からする側へ”（仮称）」と題した啓発セミナーを実施し、**直接的に「介護」の魅力を訴求**するとともに、セミナーの様子をメディア発信します。

### イベント概要

日時：令和2年2月末 10：00～17：00  
場所：ロイヤルパークホテル  
（東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1）＊予定  
主催：朝日新聞社  
協賛：20社～25社程度を予定  
来場者数：3,000人（2018年度実績）  
参加費：無料  
集客方法：新聞広告、web、SNSでの告知など  
情報発信：セミナーによる直接的な啓発、新聞を活用した事後詳細

### ステージコンテンツ

介護の魅力セミナー  
「身近な介護、介護される側からする側へ」（仮称）（60分）

メディア  
発信



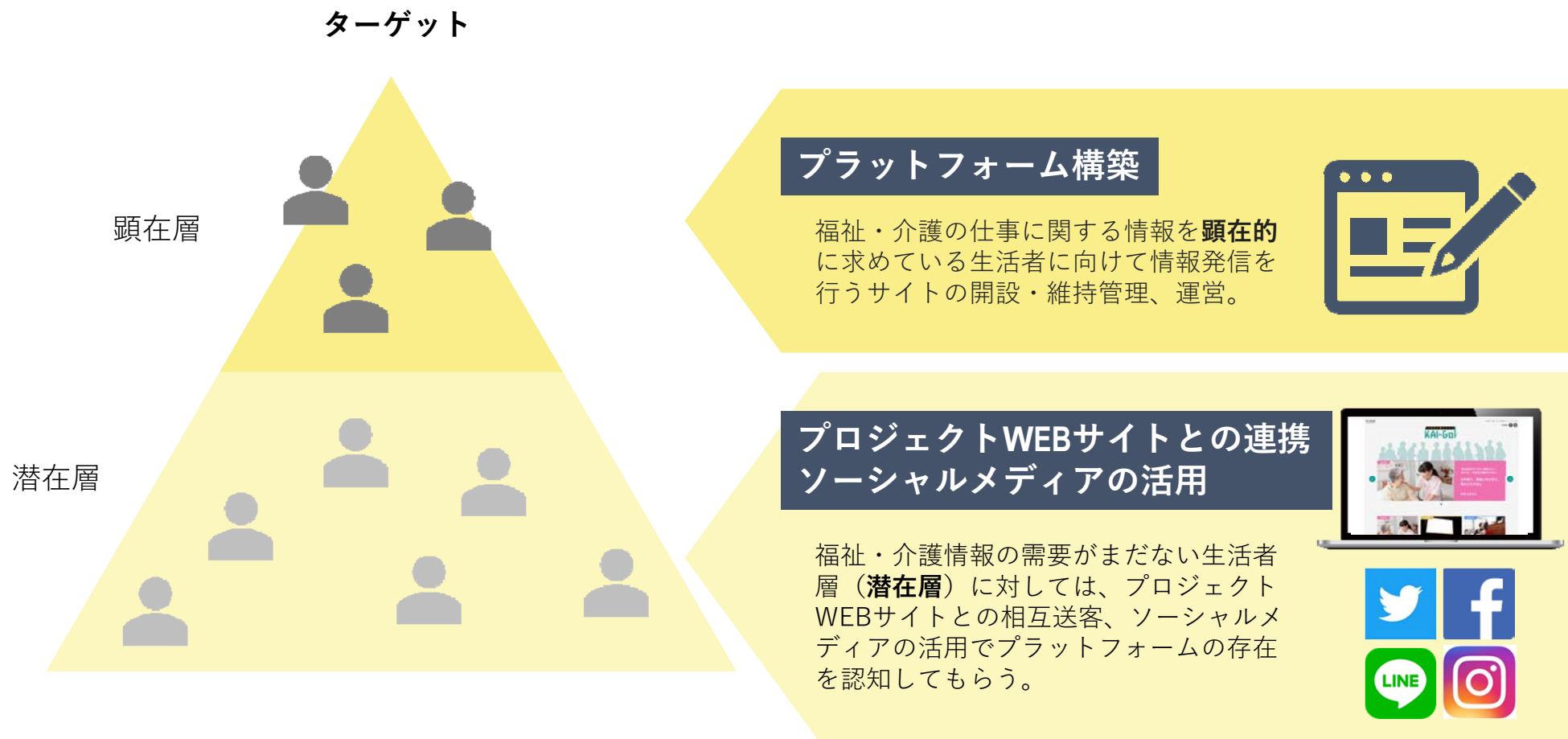
プロジェクトWEBサイトにて  
事後詳細



## ◆ 国や都道府県等の情報発信プラットフォーム構築 全体像

事業の広報や、福祉・介護の仕事に関する情報発信、**国や都道府県の施策情報の発信を行うための窓口サイト**の開設し、運営します。

特に福祉・介護が比較的身近な**顕在層**と、各自治体が保有する福祉・介護の情報をマッチングさせるプラットフォームを構築します。潜在層へ向けてはプロジェクトWEBサイト等とのリンク・コンテンツ連携、ソーシャルメディアを活用した施策をうち、認知拡大と情報ニーズ拡大を目指します。



# ◆ プラットフォーム構築 具体的な施策概要

## ◆ サイトデザインの方向性

世代横断的に多くのユーザーに見てもらえるように、文字の大きさ・行間などの世代にもストレスなく読んでもらえるようなサイト設計を行っていきます。また全体的な色調も記事を読んでもらえるように目に負荷がかかりすぎない、色味を使用します。

## ◆ サイトのユーザビリティについて

情報発信を行う自治体向けには、どなたでも、簡単にお使いいただけるシンプルなインターフェースの管理画面を準備します。サイト来訪者に対しては、地域や情報の内容をカテゴライズすることで、求める情報に素早くアクセスすることを実現します。

## ◆ サイト制作で使用するシステムについて

朝日新聞社が運営する各webメディアの基盤である「Potaufeu」を使用、アクセスに対しての強度や堅牢性を担保いたします。



# ◆ プラットフォーム構築 事例紹介

朝日新聞社では、教育業界の情報を集まるプラットフォーム「寺子屋朝日」を運営・提供しています。大学や高等学校、塾・予備校の広報担当者が管理画面に情報を入力、投稿をすると、寺子屋朝日上に情報が掲載されます。サイト来訪者は「大学」や「中学校・高等学校」といったカテゴリーのほか、「オープンキャンパス」といったタグにより、求める情報を簡単に探すことができます。

## 配信情報入力

クリック数は前日までのデータです（1日1回更新）

現在の配信本数は3本です

合計クリック数 今月：28 前月：258 [もっと見る](#)

見出し入力 (全角50文字以内)	朝日新聞EduA:
リンク先URL	
画像データ jpg/png/gif 推奨サイズ: 横640px 縦480px (4:3)	<input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="リンク先URLからogp画像を取得"/> <input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません
タグ	フィルター: <input type="text"/> <input type="checkbox"/> オープンキャンパス <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> インタビュー <input type="checkbox"/> 対談 <input type="checkbox"/> 鼎談 <input type="checkbox"/> 座談会 <input type="checkbox"/> コラム <input type="checkbox"/> グローバル

[確認画面へ](#)

## 現在配信中の情報リスト

No.	注目情報	登録日時	最終修正日時	見出し	タグ	編集	削除	クリック数
1	<input type="checkbox"/>	2019-07-01 18:32:46	2019-07-01 18:32:46	2020大学入試改革、小学生はどう備える？ 教育専門家アドバイス	・イベント ・著名人・有識者 ・パネルディスカッション ・大学入試改革 ・シンポジウム・フォーラム	修正	削除 <input type="checkbox"/>	26
				おいしいコ				

管理画面



トップページ



カテゴリページ



## ◆ 事業実施スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>◆<b>検討委員会設置</b>：令和元年8月～令和2年3月                      (①事業内容の検討、②進捗報告、③実施報告 * 令和2年3月まで随時意見交換)</p>								
<p>◆<b>記事・動画・番組等発信コンテンツの取材・制作</b>：令和元年8月～令和2年3月随時                      (「介護」の現場の取材・撮影)</p>								
<p>◆<b>特設ウェブサイトの公開、世代別セグメントメディアとの連携</b>                      令和元年11月公開～令和2年3月</p>								
<p>◆<b>マスメディア展開</b>：令和元年9月頃～令和2年3月</p> <p>新聞広告：令和元年9月または10月～12月、3月                      新聞社企画広告を連載</p> <p>雑誌：令和元年11～12月頃                      タイアップ広告掲載</p> <p>テレビ：令和元年11月～令和2年3月                      特別番組放映</p>								
<p>◆<b>次世代媒体</b>：令和元年12月頃～</p> <p>中高生新聞                      令和元年12月広告掲載</p> <p>ポスター掲示                      令和元2年1月～3月</p>								
<p>◆<b>Reライフフェスティバル</b>：令和2年2月末</p>								
<p>◆<b>プラットフォームの構築・運営</b>：令和元年12月頃公開予定</p>								

※採択時期・事業開始時期（実施適用時期）により変動します（提案段階の案です）

◆ 事業担当者

朝日新聞社

東京本社 ソリューション・デザイン部【全体統括】  
東京本社 総合プロデュース室【コンテンツ制作】

福祉・介護に対する世代横断的理解促進事業

お問い合わせ窓口

☎ 03-5540-7578

吉田（よしだ） [yoshida-t11@asahi.com](mailto:yoshida-t11@asahi.com)

神出（じんで） [jinde-r@asahi.com](mailto:jinde-r@asahi.com)

門（かど） [kado-y1@asahi.com](mailto:kado-y1@asahi.com)